

事業報告書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 特定医療法人 光寿会
① ☐ 財団 ☐ 社団 (☐ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
② ☐ 社会医療法人 ☒ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☐ その他
③ ☐ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用
注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ) について、該当する欄の口を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 兵庫県姫路市北条1丁目279番地
注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和31年 8月 9日
(4) 設立登記年月日 昭和31年 8月 9日
(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	江尻 一成	
理 事	江尻 浩隆	
同	小川 隆義	城陽江尻病院 管理者
同	神村 和仁	光寿会クリニック 管理者
同	坂本 一夫	
同	市川 靖二	
同	藤田 和也	
同	藤田 道広	
監 事	村上 啓治	
同	大橋 克惟	
評 議 員	土井 久美子	
同	森 一生	
同	阿保 政義	
同	梅田 智生	
同	新井 直	
同	片岡 章彦	
同	藤澤 喜代子	
同	神田 昌和	
同	釜谷 由紀子	
同	青木 弘美	
同	高橋 沙弥	
同	白井 義尚	
同	福永 洋一	
同	大久保 卓也	
同	辻本 江利子	

同	徳田 紀吉	
同	中崎 樹	
同	高木 和夫	

- 注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第46条の5第6項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第46条の4参照）

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	城陽江尻病院	兵庫県姫路市北条1丁目279番地	一般病床 102床 療養病床 55床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所	光寿会クリニック	兵庫県姫路市北条1丁目385番地	一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人保健施設			入所定員 名 通所定員 名
介護医療院			入所定員 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。
4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に

【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

会議名		議決又は同意事項
令和 4年 5月10日	評議員会	令和3年度貸借対照表・損益計算書承認の件 令和4年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 令和4年度借入金最高限度額(4億円)承認の件
令和 4年 5月24日	理事会	令和3年度貸借対照表・損益計算書承認の件 令和4年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 令和4年度借入金最高限度額(4億円)承認の件
令和 4年 5月28日	定時社員総会	令和3年度貸借対照表・損益計算書承認の件 令和4年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 令和4年度役員報酬最高限度額(2億円)承認の件 令和4年度借入金最高限度額(4億円)承認の件
令和 5年 3月 7日	評議員会	令和5年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 令和5年度借入金最高限度額(4億円)承認の件
令和 5年 3月28日	理事会	令和5年度事業計画並びに収支予算(案)承認の件 令和5年度借入金最高限度額(4億円)承認の件

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和 年 月 日 (施設名・事業所名)
令和 年 月 日
令和 年 月 日

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和 年 月 日 (指定内容)

令和 年 月 日

令和 年 月 日

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

法人名 特定医療法人 光寿会
所在地 兵庫県姫路市北条1丁目279番地

※医療法人整理番号 28021

財 産 目 録
(令和 5年 3月31日現在)

1. 資 産 額 3,638,885 千円
2. 負 債 額 96,908 千円
3. 純 資 産 額 3,541,976 千円

(内 訳)

(単位: 千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	1,940,210
B 固 定 資 産	1,698,675
C 資 産 合 計 (A+B)	3,638,885
D 負 債 合 計	96,908
E 純 資 産 (C-D)	3,541,976

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 特定医療法人 光寿会

※医療法人整理番号 28021

所在地 兵庫県姫路市北条1丁目279番地

貸 借 対 照 表

(令和 5年 3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,940,209	I 流動負債	94,908
現金及び預金	1,395,387	支払手形	
事業未収金	475,014	買掛金	
有価証券	14,000	短期借入金	
たな卸資産	17,436	未払金	94,908
貸付金	27,550	未払費用	
立替金	884	未払法人税等	1,508
前払金	9,938	未払消費税等	
その他の流動資産		繰延税金負債	
II 固定資産	1,698,675	前受金	
1 有形固定資産	1,676,509	預り金	
建物	761,832	前受収益	
構築物	6,379	貸倒引当金	
医療用器械備品	85,764	その他の流動負債	
その他の器械備品	21,269	II 固定負債	2,000
車両及び船舶		医療機関債	
土地	755,944	長期借入金	
建設仮勘定		繰延税金負債	
その他の有形固定資産	45,320	貸倒引当金	2,000
2 無形固定資産	20,792	その他の固定負債	
支払敷金	10,890	負債合計	96,908
ソフトウェア		純資産の部	
その他の無形固定資産	9,902	科 目	金 額
3 その他の資産	1,374	I 資本剰余金	5,000
有価証券		II 積立金	220,000
出資金	713	代替基金	20,000
保有医療機関債		役員積立金	200,000
その他長期貸付金		繰越利益積立金	3,316,976
役職員等長期貸付金		III 評価・換算差額等	
長期前払費用		その他有価証券評価差額金	
繰延税金資産		繰延ヘッジ損益	
その他の固定資産	661	純資産合計	3,541,976
資産合計	3,638,885	負債・純資産合計	3,638,885

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 特定医療法人 光寿会

所在地 兵庫県姫路市北条1丁目279番地

※医療法人整理番号 28021

損 益 計 算 書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		3,147,584
2 事業費用	3,051,523	
(1)事業費	3,051,523	
(2)本部費		
本来業務事業利益		96,062
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業利益		96,062
II 事業外収益		20,734
受取利息		152
その他の事業外収益		20,582
III 事業外費用	12,730	
支払利息		
その他の事業外費用	12,730	
経常利益		104,067
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失		
税引前当期純利益		104,067
法人税・住民税及び事業税	23,936	
法人税等調整額		
当期純利益		80,130

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 特定医療法人 光寿会

※医療法人整理番号 28021

所在地 兵庫県姫路市北条1丁目279番地

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内 容	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
当法人理事 長江尻一成 の配偶者が 代表取締役 である法人	(株)Apollo 5-3-16	姫路市新 在家本町	41,727	小売、不 動産賃貸 業	賃貸	賃貸料の 支払い	25,571	前払金	2,151

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
役員	江尻一成	医師	当法人理 事長、不 動産の貸 借	賃貸料の 支払い	9,720	前払金	810

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 関係事業者ごとに記載すること。
 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
 3 近親者である場合には統括を記載する。
 4 次に定める取引については上記の注記を要しない。
 イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
 取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
 ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

特定医療法人 光寿会
理事長 江 尻 一 成 様

私（注1）は、特定医療法人光寿会の令和⁴2会計年度（令和⁴2年4月1日から令和⁵3年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和⁵3年5月25日
特定医療法人光寿会

監事 村上啓治

監事 大橋克雄

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。